



THE MAGIC
OF ROTARY

ロータリーのマジック

国際ロータリー

会長 ステファニー-A.アーチック

国際ロータリー第2670地区

ガバナー 夏見 良宏

◆例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
◆例会場 香川県善通寺市文京町3-3-3
(事務所) 善通寺商工会議所2F
TEL(0877)62-7627 FAX (0877)62-7656
E-mail zen-rc@downtown21.gr.jp
WEB <http://www.downtown21.gr.jp/zen-rc>

◆会長
田岡 直博

◆幹事
高畑 光宏



2024-2025年度 クラブテーマ
「奉仕の心を大切に」



総本山善通寺五重塔

幹事報告

到来誌:RI日本事務局財団ニュース10月号、2023年度米山記念奨学会決算報告・事業報告書、ガバナー月信10月号

配布物:ロータリーの友10月号、2024-2025年度米山豆辞典

* 例会後、理事会を開きます

出席報告

正会員39名 名誉会員1名

(2024/9/4 現在) (出席免除会員(b)9名(a)0名)

10/2 (2719 例会) 会員数 39名 出席会員 17名(5名)
欠席会員 13名

9/18 (2717 例会) 会員数 39名 出席会員 20名(2名)
<修正>

メイクアップ 10名

石原慎一、前田 純、宮武宏行、森永常夫、浪花 穰、
酒井忠行、下谷和範、寺嶋謙次、仙頭志朗、山下安亮君

9/18 出席者 32名 出席率 100%

ビジター 0名

お知らせ

★ 炉辺会合のご案内

ロータリー情報委員会 岩野委員長

3年未満の会員を対象のロータリーアンとなる勉強会に、下記の通りご案内いたします。

日時 10月23日(水) 18:30~

場所 樹里庵

会費 5,000円(今年度入会者2,000円)

* 16日(水)までに出席を確認中です。

今月の例会プログラム

- 10月 2日 香川分区合同米山協議会報告
田岡会長、細川会員
- 10月 9日 卓話 米山奨学生
ファミ ティ トゥさん(世話クラブ:観音寺東)
- 10月16日 客話 香川第Ⅱ分区ガバナー補佐
國時 忠能 様
例会後、ガバナー補佐のクラブ協議会(役員・委員長)
- 10月23日 休会(定款第7条に準じ)
* RC活動が2件あります。
- 10月30日 ガバナーの公式訪問例会
ガバナー 夏見 良宏 様

ニコニコBOX

- 岩野健造君:夫人誕生祝を頂いて
- 安井一博君:夫人誕生祝を頂き有難うございます
- 香川和久君:夫人誕生祝を頂き有難うございます
- 細川督夫君:米山協議会報告しました。よろしく
お願いします
- 田岡直博君:米山協議会の報告をさせて頂いて

10月30日(水)はガバナーの公式訪問例会

四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

クラブ活性化セミナー報告

行動計画セミナー

高畑 光宏



今回の地区活性化セミナーの第Ⅱ部の行動計画セミナーでは、2670 地区アクションプランチャンピオン行動計画推進リーダーで

あるパストガバナー 前田 直俊様 (坂出東 RC) よりアクションプランに関するお話を頂きました。

アクションプランとは、①会員増強、②クラブの奉仕・親睦活動、③ポリオ根絶、④ロータリー財団への寄付、⑤クラブの戦略計画、⑥公共イメージとコミュニケーションといった、各ロータリーが共通で取り組むべき、単年度では対応しがたいテーマに対して、3年間というスパンで持って取り組もうというものでした。そのためには各ロータリーで「行動計画推進者 (アクションプランチャンピオン)」を1名以上選任し、クラブへの理解浸透を図るべきだということでした。確かに、これまでロータリーは単年度組織制による短所として、継続性の弱さが挙げられていましたが、こうした取組みによって、少しでも継続性が必要な大きなテーマに関しては取り組みやすくなると感じました。

以上、簡単ですが報告申し上げます。



香川分区合同米山協議会
ホテルマリンパレスさぬきにて



例会での報告の様子

香川分区合同米山協議会報告

田岡 直博



去る令和6年9月21日、ホテルマリンパレスさぬきで、香川第Ⅰ、第Ⅱ分区の米山協議会が開催されました。

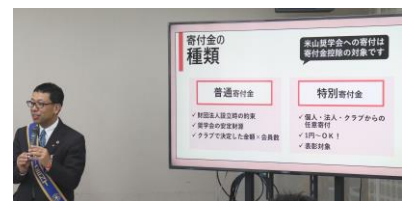
各クラブの会長、米山委員長のほか、米山奨学生、カウンセラー、指定校の指導教員、来賓などが出席され、クラブの基本方針の説明及び米山奨学生のショートスピーチなどがありました。

ご存知とは思いますが、米山記念奨学事業は日本独自の事業であり、日本で学ぶ外国人留学生を支援する事業です。お世話クラブ・カウンセラー制度を設けており、交流を重視しています。70年間で、累計2万4133人を受け入れました。2024年度の奨学生は926人。このうち香川第Ⅰ・第Ⅱ分区は、5人です。指定校は香川大学と高松大学の2校でしたが、来年から徳島文理大学香川キャンパスが加わります。奨学生も7人に増える見込みです。

財源は寄付金であり、第2670地区は、普通寄付6000円/人、特別寄付1万円/人を呼びかけています。当クラブは、普通寄付は達成していますが、特別寄付は6人10万円にとどまっています。奨学生は、特別寄付の額に応じて割り当てられます。葛石地区委員から、会員誕生祝いのニコニコの際に1人1000円の特別寄付の提案がありました。よろしくお願ひします。寄付の種類額に応じて、米山功労者の表彰制度などがもうけられています。

奨学生のショートスピーチでは、奨学金をいただけるおかげで、アルバイトの必要がなくなり、研究にあてられる時間が増えており、精神的に安定が得られているなど感謝の言葉がありました。香川大学医学部に在席する奨学生は、膵臓癌の研究をしており、学会発表をしているという報告もありました。

また、指定校の指導教員・担当部署の報告によれば、卒業後は香川県内に就職する奨学生も多く、高度外国人材を育てて、定着させるためにも、奨学事業は役に立っているという感謝の言葉がありました。



Zentsuji Rotary Club Weekly Report



細川 督夫

米山梅吉氏
(1868-1946)
東京・芝田村
町生まれ。
19歳で渡米、
帰国後、三井

銀行入行。遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスRC会員だった福島喜三次氏と出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立します。1924年には日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立し初代社長に就任、晩年は三井報恩会を通じて社会・医療・文化事業を支援したり、私財を投じて緑岡小学校と緑岡幼稚園を設立し、教育にも貢献しました。“何事も人からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ。”これは梅吉氏の願いでもあり、生涯そのものでした。

本日、米山記念奨学会より届き皆様に配布した2024-25ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」のP.5米山梅吉氏の紹介文です。

1945年第二次世界大戦が終戦し翌年、梅吉氏が亡くなり、ロータリー創設者ポールハリスがその翌年(1947年)に亡くなり、1949年日本のロータリークラブが国際ロータリーに復帰後、1952年東京RCが奨学事業の構想を立案、1953年「米山基金」の募金が始まりました。

10月は米山月間となっています。皆様、ご協力の程宜しくお願い致します。会長も言われましたが、皆様の会員誕生祝のニコニコへの1部、1000円を個人特別寄付としてこの月間にまとめて寄付をさせて頂きたいと思っております。現在10万円(米山功労者)を目指して年1万円をされている方もいるかと思いますが、その方は、9000円+1000円=1万円という形で送金させて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。また、米山功労者寄付(10万円)も宜しくお願い致します。



皆さんへ米山資料としてお配りしています。



10月夫人誕生祝
おめでとうございます

5名中3名



Zentsuji Rotary Club Weekly Report

Zentsuji
Rotary
Club



善通寺 RC 週報 2024年10月 9日発行